



開通を祝ってテープカット(印西市松虫地先)



開通日に道路を通行する車両

北千葉道路開通

2/19

県西地域からのアクセス向上

東京外かく環状道路と成田空港を結ぶ北千葉道路(国道464号・全長約43キロメートル)。その印西市若萩から成田市北須賀までの4.2キロメートルが開通しました。すでに開通している区間と合わせると約26キロメートルが開通したことになります。これにより、県西地域から本市へのアクセスが向上し、相互交流による地域の活性化、救急医療・防災機能の強化などが期待されます。平成30年度には本市の船形から押畑までの区間の開通が予定されています。

奈土のオビシヤ

2/19

古式ゆかしい早春の風物詩

県記録選択無形民俗文化財に指定されている「奈土のオビシヤ」が奈土5区・6区で行われました。朝、両区の代表者らが磐裂神社で五穀豊穡と家内安全を祈願し、午後には各区に分かれて祭礼式典を行いました。5区では、オビシヤの当番を務めた家に区内の戸主が集まり、当番の受け渡しを行った後、新しい当番の家に向かう最初の三差路で杯を交わす「三又の座」が執り行われました。

奈土芸能保存会
による獅子舞



三差路にござを敷いて行った「三又の座」



表彰を受けた皆さん

救命活動表彰

2/15

倒れた男性を救助

市内のショッピングセンターで突然倒れた男性を救助したとして、渡邊友実さん(中台)、田中範子さん(加良部)、石原由美さん(栄町)に市から表彰状が贈られました。3人は119番へ通報し、救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫、人工呼吸などを実施。田中さんは普通救命講習と応急手当普及員講習の受講経験があり、当日も人工呼吸用マウスピースを携帯していました。「頭は真っ白でしたが、教わったことを体が覚えていて対応できました」と話していました。

スポーツ教室

2/19

本日のコーチは順大生

順天堂大学バレーボール部の学生を講師に迎え「スポーツ教室」が開かれました。参加した中学生76人は5つのグループに分かれ、スパイク、サーブ、ブロック、トスなどを教わりました。お兄さん・お姉さんのような年齢の講師が示す手本を食い入るように見つめ、まねしようとする参加者。その姿に講師たちは「腕が上がり過ぎていたね」「今のプレーは良かったよ」などと、丁寧に声を掛けていました。



レシーブの手本を見る真剣なまなざし



客席を回るひよっこを撮影

中郷地区生きがいセミナー

2/26

地域の仲が深まる発表

地域交流の場として、住民が企画・運営する「中郷地区生きがいセミナー」が中郷公民館で行われました。地域の人は、日頃から練習している歌やマジック、踊りを元気に披露。伝統芸能の発表では、ひよっここの面をかぶった子どもが登場し、笛や太鼓に合わせて軽妙な動きで客席を回り、笑いを誘いました。普段から知る人たちの演芸に、会場は和気あいあいとした雰囲気になりました。

千葉県芸術文化団体協議会芸術文化顕彰

新井とみ子さんが受賞

成田市文化団体連絡協議会会長の新井とみ子さん(中台)が、「千葉県芸術文化団体協議会芸術文化顕彰・功労表彰」を受賞しました。新井さんは生涯学習インストラクターなどの資格を持ち、成田市大正琴連盟の代表も務めています。市民文化祭や公民館まつり、地域の行事に出演したり、福祉施設を訪問したりして演奏を披露するなど、地域の文化振興に尽力するとともに、地域福祉活動にも貢献してきました。



受賞を市長に報告した新井さん(右から2番目)